



## 1学期を終えます

昇降口の前に置かれている植木鉢。アサガオ(1年生)にもトマト(2年生)にも花が咲きました。昨年は、臨時休業中で各学級担任が家庭訪問の際にタネや土などをご家庭に届け、育てていただきましたが、今年は、学校でタネをまいたものが立派に成長しています。1学期の時間の流れを感じ、植物だけでなく子どもたちもともに成長してきた姿も感じています。この成長までの期間に、間引いたアサガオを大事そうに牛乳パックに入れて下校する姿もありました。4年生の「やまのこ学習」では、木を間引きし、木々の間隔をあける環境を整えて、太陽の光をたっぷり浴びられるようにする体験をします。間引きした木は処分してしまうのではなく、「間伐材」となって利用する体験もします。感染症のおさまらない状況ですから、間引きの作業は、植物にとっても「ソーシャル・ディスタンス」ととらえる子もあるかと感じてしまいそうですが、いずれにしても生きていくために必要なことだということでは共通しています。

植物を育てていく体験を通して、単に知識を得るということだけでなく、植物を愛おしく思う気持ちを小学生なりに感じ、優しい気持ちを育ててくれればと思います。毎朝、植物に話しかけるように水をやる姿がほほえましいです。なかには、学校を欠席した弟や妹の鉢に水をやっている高学年の子の姿もありました。昇降口周辺には、そんなおだやかな空気が流れています。(写真)

さて、21日からは夏休みが始まります。今年は昨年のような短縮はなく、例年どおりの長い期間となります。自然体験やスポーツ、読書など自分のやりたいことに熱中し、より充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。さらに、家の仕事を手伝うこと、可能ならば地域の人と(距離を保ちながら)触れ合える機会も持てればいいなと思います。日頃、子どもとの時間がなかなかとれないというご家庭も、子どもと一緒に体験し、団らんを深めるよい機会にいただければと思います。



## 中学生の姿に 将来の自分を重ねる?

去る6月16日(水)、学校運営協議会を開催しました。この会議では、毎回のように「北小の子どもたちにどんな子に育ってほしいか」について協議する時間を設けるようにしています。その場で、ある委員がこんな話題を出してくださいました。「湖西中学校の生徒のあいさつには、毎朝『すばらしい』と感心する。小学生の頃はそうでもなかったのに、中学生になるとしっかりあいさつできるところを見せてくれる」と。この部分だけを切り取ると、小学校での指導が足りないのではないかと、思ってしまいますが、部活動をはじめとする中学校での経験がそれをさせてくれるのでしょうか。小学生のように多数での集団登下校中に大人からあいさつの声をかけられても、「自分が声を出さなくても誰かが出せばいい」と考える子もいるようですが、中学生のように一人または少数での通学中には自分の責任において声を出さなければ…」という思いを抱くのもかもしれません。そう考えると小学生があいさつができないのではなく、していないだけなのかもしれません。

この中学生の姿を小学生が見ていないわけではありません。その姿は「〇年後の自分」と考えているものと信じています。「中学生になったら自分もあいさつできる生徒になろう」と思わせる環境を作ってくれる中学生に、身近なところに良きお手本があることに感謝します。(欲を言えば、「中学生になったら」じゃなくて、今から始めてほしいのですが…)

ちなみに毎月5日を基準日として青少年育成学区民会議の役員さんがあいさつ運動をしてくださっていますが、その日は「おはようございます」の声を返せる子が増えます。返ってこないからあいさつをしないのではなく、大人として根気強くあいさつを投げかけることもあいさつできる子を育てることになります。今後も「地域で子育て」をよろしく願います。

## 個別懇談・通知表をお子様の成長に活用してください

14日(水)～16日(金)の日程で個別懇談をさせていただきます。この懇談では、お子様の様子について担任から口頭にてお伝えさせていただき、通知表をお渡しします。誰にも「よいところ」と「改善すべきところ」があります。つつい後者ばかりに気をとられ、前者を伝えることが少なくなりがちですが、まずは、「認める」ことを優先してください。多くのお叱りのあとにおまけのような認め方は、もったいないです。「自分にはよいところがある」との思いを持たせうえて、「なおすところもあるんだなあ」と心に染みるものです。なおすべきところをたくさん言われても聞く耳を持ちたくないと思うのもよくわかります。

子どもの認め方については、いくつかのポイントがあります。「具体的な内容で」「人格より行動を」「結果だけでなくプロセスこそ」「当たり前なことでも継続していることも」「人と比較せずに」「励ますよりただ認める」などです。また、よく使う言葉で、そのたび反省するものに、「がんばれ!」という言葉があります。確かに、「がんばれ」と言われれば、勇気づけられることもありますが、「もう十分がんばってるんや。まだがんばらなあかんか」「頑張っていないように見えているんか?」という叱責のように聞こえるかもしれません。認めるということ、その言葉選びは難しいものです。

しかし、認めるのは、言葉だけではありません。「ほほえみかける」「ガッツポーズをする」なども勇気を与えます。自分の経験を述べますと、高校時代に競技会で自己ベスト記録を出したチームメイトには、何の言葉もなく、ただ握手を求めるのが通例となっていました。息があがる状況でも強く握り返す友の力に言葉以上の会話を感じたことを思い出します。また、「名前を呼ぶ」「あいさつをする」「頭をなでる」など「あなたの存在を気にかけていますよ。」というサインをおくことも一つの方法です。

「毎日、運動場を走っているね。」と、事実をそのまま伝えることも大切です。「ゴミを拾ってくれて、ありがとう。部屋がきれいになって気持ちがいいね。」と自分の素直な気持ちを伝える方法があります。見たまま、感じたまま、ありのままを伝えます。子どもを成長させるために「認める」ということを実践していきましょう。

時にはスキンシップも大事です。植物と同じようにディスタンスが必要な時もあります。私たちは植物と異なり自分の意思で動くことができます。「つかずはなれず」という言葉もありますが、その距離感を工夫しながら子どもの自立を助けるのが大人の役割といえます。

## 緊急時の対応(行動)について

先日、暴風による休業措置となる場合についてお知らせをしました。梅雨末期を迎え、東日本では甚大な被害が出ているところもあります。自然災害の恐ろしさをつくづく感じます。さて、9月1日は「防災の日」です。本校でもその前日である8月31日に巨大地震を想定した避難訓練を行います。(くわしくは後日案内させていただきます。)

ただし、地震は学校滞在中に起こるとは限りません。通学時や在宅時の行動については、右記のとおりです。なお、原子力災害発生時等の行動様式については、今後ホームページで公開する予定です。しばらくお待ちください。

### 1 登下校中に地震が発生したら

- ① 歩道から車道に出ない。
- ② 電柱、建物、ブロック塀、看板等の倒壊の危険があるものから離れ、頭部を保護し、姿勢を低くする。
- ③ 学校または自宅の近い方に避難する。(迷ったらその場で待機)

### 2 在宅中に地震が発生したら

- ① 家具等が倒れてこない場所に移動し、頭部を保護し身を伏せる。
- ② 避難が必要な場合には、家族とともに避難場所に移動する。

## 8～9月 学校行事予定

### 8月

8日 (日)	山の日	13日 (月)	なかよしほほえみ・ひびきあい
9日 (月)	振替休日	17日 (金)	食育の日
10日 (火)	学校閉庁(13日まで)	19日 (日)	家読の日
28日 (土)	PTA環境整備作業・PTA実行委員会	20日 (月)	敬老の日
30日 (月)	始業式	22日 (水)	学習参観日 クラブ活動
31日 (火)	避難訓練(地震-引き渡し)		

### 9月

1日 (水)	給食開始 委員会活動	23日 (木)	秋分の日
6日 (月)	学年費口座振替(全学年) 北小希望の会の日	27日 (月)	家庭学習がんばり週間 1年校外学習
		29日 (水)	委員会活動

\*今年度の高島市小学校陸上記録会(10月)および音楽会(11月)は、実施しません。

※ 夏季休業中の学校への電話は、平日の午前8時15分～午後4時45分まで対応します。また、8/10～13日は学校閉庁となります。急を要する連絡は、高島市教育委員会学校教育課(25-8562)へおかけください。ご迷惑をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願いいたします。